

# 山形県立農業大学校

# 同窓会だより

## 第2号

平成12年 6月1日  
 山形県立農業大学校同窓会  
 新庄市大字角沢1366  
 TEL. 0233-22-1527  
 FAX. 0233-23-3119

### 「同窓生同志の連携を密に」

同窓会長 津藤次雄(第十三期生)



今年は何年にもない二月、三月の大雪により春の訪れが遅く、農作物の作柄が心配されるこの頃ですが、同窓生の皆様いかがお過ごしでしょうか。

農業大学校も昭和三十年発足以来昨年で四十五年の節目を迎え、記念事業として山形女子短期大学の秋元千鶴子先生を迎え、記念講演を十一月三日の農大祭にあわせ実施しました。

今年、校長先生も歴代十五代目の佐藤功先生を迎え、県内唯一の農業後継者教育機関としての名実を高めております。

同窓生も二四〇〇名を超え県内各地で活躍しております。

現在の農業を取り巻く環境は大変厳しいものがあります。

ですが、同窓生同志の連携を密にし、これらの情勢を乗り越えていこうではありませんか。

また、平成十六年度には五十周年という大きな節目ともなる訳ですが、今年には実行委員会を立ち上げ記念事業の実施に向けて頑張りたいと思っておりますので皆様の御協力をよろしくお願い致します。



世界の冒険家「大場満郎氏」(第14期生)を囲んで

### 校長就任にあたって

農業大学校長 佐藤功



本校同窓会の皆様には、県内各地域でご活躍のことと存じます。また、日ごろ同窓会の運営に何かとご尽力ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

農家数の減少・少子化、さらに進路は、四年制大学・各専門学校など門戸が広がっている現状にあります。

そのような中、平成十二年度の養成部入校生は、定員を一名多い五十一名を、研修部の特別研修課程には、十三名の入校生を迎えております。

これは、同窓生の皆さんが地域で中核的な担い手として、また各分野でめざましい活躍をされていること、農業をやりがいのある職業の一つとして見直し気

運が高まっていること、イメージアップなどが要因と思われまます。

さらに、本校の環境は、畜産研究部、中山間地農業研究部に隣接し高度の試験研究に身近に触れられる、教育環境もあげられます。

このすばらしい環境を実践学習に活用するとともに、一層魅力あるカリキュラムの充実強化を図ってまいります。

そして、農業及び農村に關して広い視野と判断力を備えるとともに、急激な展開をみせる社会情勢の変化にも対処しうる優れた経営能力と高度な生産技術を有するいきいきとした農業者の養成に努めて参ります。

今後とも、本校運営にご協力、ご助言を賜りますようお願い申し上げます。



# 女性会員研修会に参加して

鮭川村向居  
阿部 ちか子  
(第11期生)

十一月三日、女性会員研修が農業  
大学校「緑風館」に於いて開催され  
ました。講師に山形女子短期大学の  
秋元千鶴子先生を迎え、「いきいき暮  
らそう二十一世紀」と題し、ユーモ  
アを混じえながら、エネルギーシ  
ュからだ全体で表現される先生のご  
講演に、二十一世紀への活力を与え  
ていただくと共に健康に暮らす暮ら  
し方を教えていただきました。当日  
は農大祭とあって、同窓生ばかりで



なく一般の方々も多数参加され、満  
員に近い会場は熱気にあふれていま  
した。

秋のひとときを母校で心豊かに過  
ごすことができ、本当に有意義な一  
日でした。また、このような機会を  
是非設けていただき、より多くの会  
員が参加され、女性の和がさらに大  
きく広がることを期待したいと思います。



# ゴルフコンペ開催

鮭川村川口  
高橋 真哉  
(第28期生)

平成十一年十一月二十日、県民ゴ  
ルフ場において、同窓会ゴルフ愛好  
会第一回コンペを開催しました。橋  
本校長先生をはじめ十五名の参加者  
で、優勝した鈴木貞治先生に、庄司  
事務局長から会長賞のコシヒカリが  
贈られました。同窓生と職員の方々の  
交流を深め楽しい一日となり  
ましたが、同窓生のゲーム参加は私  
一人だけでしたので、二回目からは  
多くの会員の参加をお願いします。



# 同窓生は、いきいき活躍中



山形経済連 米穀部 技監  
橋本 重雄  
(前校長)

この三月で県(農業大学校)を卒  
業し農業団体にお世話になり、これ  
までの延長線で農家・農業の発展に  
微力ながらお手伝い出来ることと  
なった。これまでは、県という立場

で農業団体の方々として来たが、  
内部に入ってみて一番に感じたこと  
は、職員の方々の非常な働きぶり  
であった。「農家が汗した米を」と、こ  
んなに皆がガンバっているとは想像出  
来なかったこと、この方々に任せ  
ておけば山形の米の流通販売は大丈  
夫である。

また、あいさつに各JAや関係の  
所に伺ったが、必ずそこで生き生き  
と活躍している我が農業大学校OB

# 農業と 食品加工をしながら



長井市草岡  
梅津 善助  
(第18期生)

私は、農業(水稲・養豚・大豆)  
をしながら、仲間と共にハム・ソー  
セージを作っています。飽食の時代  
では、農業が軽視され、産業として  
は認められない感じがします。しか  
し、毎日の食生活を考えれば、もっ  
と大切にしたいと思っています。ハ  
ム加工もおかげさまで十三年目を迎  
えようとしています。お客様に支え  
られたことで、より安全な商品を作  
る責任の重大さを感じています。そ  
して、農業と食品加工をしながら、  
毎日いろいろな人達と、話ができる  
ことが楽しいです。

# 会員から

農業は、米価が  
順調に上昇し、稲作  
を中心にある程度計算で  
きる職業であったと思えます。

あれから二十年、農政の弱体化など  
により今はまるで逆になりました。  
毎年目減りする稲作の収入分を他の  
作物でカバーする事ばかり考え、手  
当たり次第新規作物を導入すること  
の繰り返しです。年間の労働力配分  
を均一にする為に休日もままならな  
い状況です。いつかは農業に明るい  
兆しがあるかと思いつついる人も  
多いと思います。こんな時ふと思  
い出すのが大学時代の友人の事です。  
県内各地に頑張っている友人も沢  
山います。昔酒を交わしながら夜遅く  
まで語り、明るい将来に希望を持っ  
ていた頃が懐かしく思います。しか  
し過去を懐かしく思うのはまだ早い。  
昔の希望はまだ発展段階であり、こ  
れから希望達成に向けて頑張ろうと  
思います。大学校は、自分の職業を決  
めさせてくれた所です。

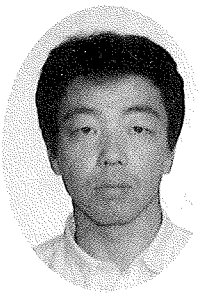
# 初志貫徹



櫛引町大字丸岡  
鈴木 善一  
(第25期生)

私が大学校に入校した頃の庄内の

# セルリー部会



山形市上町  
高橋 一広  
(第32期生)

私は、大学校を卒業してから十三

# 私の思い出

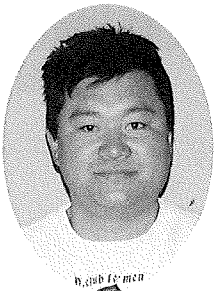


新庄市金沢町  
柏倉 愛子  
(旧職員)

年が過ぎました。  
私は、大学校を卒業  
後二年目からセルリー裁  
培に取り組んできました。現  
在、五十haの面積(七六〇坪)には  
セルリーを春作九〇〇株、秋作一  
〇〇〇株と二作付けています。  
山形市農協野菜専門委員会にはセ  
ルリー部があります。このセルリー  
部会は、大学校を卒業された先輩方  
をはじめ部員数二十名の部会で、県  
内には、山形市農協にしか産地がな  
く、今後面積を増やし、良質生産を  
目指して行きたいと思っています。

私は十二期〜十七期その後農業大  
学校に三年と九年間勤務させて頂き  
ました。生活関係の仕事です。ある  
時十二期生(松本女子部)の一人が  
腹痛を起こし谷病院にて診察、盲腸  
即手術と成り父兄に連絡し親変わり  
で立ち合ったが、その後継ぎ八人程  
同じ様子で手術、食事関係が原因か  
など心配しましたが、そんな事はな  
いと言われました。その後現在の地  
に移転し男子生徒と一緒に十三

# 事務局員として



新庄市十日町  
今田 浩徳  
(第33期生)

期生からは高校卒も入所、教育方針  
も検討され十三期生からは、モル  
モットではない等いわれ印象的だ  
す。年々立派な近代施設、教育器材、教  
授のもとで二代目が卒業されている  
と聞き、今後とも農業後継者が育つ  
と共に皆様のご健康をお祈り申し上  
げます。

卒業式、入校式と気持ち新たまる  
時節を終え、心引き締まる思いで学  
生生活や就農・就職生活を送ってい  
ることと思います。県下に卒業生二  
千有余名を送る当学校も創立から五  
十年を間もなく迎えます。就農者育  
成をモットーに優秀な農業者を多く  
輩出してきました。今後もそれは変  
わらないことと思います。農業施設  
のスケールアップや、四年制導入な  
ど多様化する農業情勢に、変化を求  
められつつあると思います。我々同  
窓生は、大学校が更に総合的  
な後継者育成に取り組めるよう環  
境づくり等側面的な協力をして行か  
なければならぬと思います。

**「地区活動」 農業者フォーラム開催**  
**“ビッグな夢”**  
 鶴岡市稲生 佐藤新一（第十五期生）

去年の二月六日に鶴岡普及センター管内の卒業生に案内を出し、市内のホテルにて、津藤同窓会会長、富樫教授、鶴岡普及センター所長より出席をいただき地区同窓会を開催しました。

この日まで来るには、三年前にある同窓生が偶然に会ったパチンコ店での会話より始まり、これをきっかけに小規模ではあったが地区同窓会が開かれその中で定期的に集まることのできないのか、同期だけでなく先輩や、後輩と顔見知りになりたい等と意見が出され、それなら来年も集まろうということになり、二十二期生を幹事として選び、一期生から四十三期生まで百五十数人に案内を出すこ



とがで  
 き当日  
 を迎え  
 ること  
 ができ  
 ました。  
 その  
 日の内  
 容とし  
 ては、  
 来賓の  
 挨拶を

いただき、その後交流会と話題提供になればと「ビッグな夢」農業者フォーラム」と題して四名の在校生より卒業論文の発表、卒業生より体験発表をいただき懇親会に入った。前半が堅いせいもあってか懇親会では久しぶりに見る顔や先生方も会い大いに盛り上がり幹事の方も青くなる勢いだつた。  
 今年も十一月頃をめどに鶴岡田川普及センター管内と地域的にも大きくなり参加人数も多くなるのではないかと期待しています。

**りんご園伐採**

平成七年に植栽された新果樹園が成園化したのに伴い、旧りんご園が全て伐採されます。

昭和三十九年以降植栽され、大雪と闘いながらこれまで大学のりんごとして地域から愛されてきたりんご園ですので、伐採を前に「りんご園に感謝する会」を、平成十一年の農大祭にあわせ執り行いました。  
 当日は、これまで苦勞して管理に当たってこられた先生方十三名にご出席いただき、学生代表と参加者が鋸入れを行いました。  
 そして、現在は半分の伐採が終わり、十二年の収穫後に全て伐採され

ます。りんご園は見納めになりますので、思い出のある方は、ぜひ今年の農大祭においでのおえご覧になってください。

**新体育館落成**

平成十一年三月に飼料庫跡に新体育館が完成しました。  
 本会では、父兄会と協賛でステージ幕一式を寄付しました。

**大場満郎氏南極大陸  
 単独徒歩横断成功**

十四期生大場満郎氏は南極大陸単独徒歩横断に挑戦し、本会からの三十万円の支援もあり、みごと成功されました。

**M・C・C関係者来校**

本校と姉妹校である米国コロラド州モーガン・コミュニティー・カレッジ（M・C・C）のマッケイ学長夫妻をはじめ教職員と学生のファームステイを受け入れたホストファミリー一行十八名が六月二十八日から六日間本県を訪れます。  
 六月二十九日にはマッケイ学長の記念講演と歓迎レセプションが開催され、県内視察の後七月一〜三日までホームステイをします。  
 会員にも参加とホームステイの受け入れをお願いしております。

**平成13年度 山形県立農業大学校  
 学生募集**

1. 学科（専攻コース）
  - 稲作経営学科（稲作）
  - 園芸経営学科（野菜・果樹・花き）
  - 畜産経営学科（酪農・肉用牛・養豚）
2. 募集人員 50名（推薦、一般入校あわせて）
3. 応募資格  
 高等学校を卒業、又は平成13年3月卒業見込みの者
4. 試験日  
 推薦入試：平成12年11月22日（水）  
 一般入試：平成13年2月9日（金）

5. 出願期間  
 推薦入試：平成12年11月2日（水）から13日（月）まで  
 （当日消印有効）  
 一般入試：平成13年1月12日（金）から26日（月）まで  
 （当日消印有効）
6. 合格発表 平成13年2月20日（水）
7. 問い合わせ先 山形県立農業大学校  
 （TEL 0233-22-1527/FAX 0233-23-3119）  
 ホームページ <http://shinjo.dewa.or.jp/ynodai1/>  
 〒996-0052 新庄市大字角沢1366  
 又は、最寄りの農業改良普及センターまで